

競技注意事項

1 規則

本大会は2018年日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練習

- ・練習は補助競技場で行うものとする。※周辺の公園内や駐車場内での練習は絶対に行わないこと。
- ・フィールド種目の練習は競技開始40分前から、競技場内で競技役員の指示により行うものとする。
- ・練習は競技役員の指示に従い、危険防止に注意すること。

3 競技場

- ・競技場の開門時間は両日とも午前7時30分の予定である。
- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。
走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照されたい。

4 招集

- ・招集場所は、100mスタート付近のスタンド下に設ける。招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。
- ・招集完了時刻は次の通りである。
 - トラック種目(リレー種目を除く)・競技開始50分前から20分前まで。※リレー種目は7参照のこと。
 - フィールド種目……………競技開始70分前から40分前まで。※棒高跳はピットで実施する。
- ・選手は出場種目の招集完了時刻までに、招集所にてナンバーカードを付けたユニホームを持参し、競技者係にチェックを受ける。
- ・選手は競技開始10分前に、各競技場所にて最終点呼を受ける。
- ・代理人による最終点呼は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する選手はその事を本人または代理人が競技者係及び、出発係に申し出て了解を得ること。

5 ナンバーカード

- ナンバーカードのナンバーは登録番号とし、顧問総会で配付した数字サンプルを使用して各自で作成(男女共に黒)し、2枚をユニホームの胸と背に結着すること。ただし跳躍種目は、1枚を胸または背に結着するだけでもよい。
- ※トラック種目は、招集場所で腰につけるレーンナンバーカードを渡されるので、右腰に結着する。フィニッシュ後、係に返却すること。
 - ※男子5000m・女子3000m・男女5000mW については、招集場所で特別ナンバーカードを渡されるので、これを結着する。フィニッシュ後、係に返却すること。

6 トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順について

- ・トラック競技は、すべて電気計時とする。トラック競技のスタートは1回目の不正スタートで失格とする。
※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられる事がある。
本大会では、同一レースのイエローカード2枚で当該レースのみ失格(レッドカード)とする。但し、競技会からは除外しない。
- ・トラック競技一次予選の組走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・トラック競技二次予選の組走路順は本部で抽選し、招集所横に掲示する。
 - ※800mについては、100mまでセパレートレーンとする。 ※男子5000m、女子3000mは段差スタートとする。
 - ※男女ともに5000m競歩は40分で競技を打ち切る。(40分で最終周に入れない場合)

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し競技開始1時間前までに招集所に提出する。(用紙は招集場所で配付)
- ・リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニホームを着用するものとする。
- ・4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。※2018年から4×100mRのバトンゾーンは30m。

8 計時

- ・トラック種目についてはすべて電気計時(1/100秒)で行う。
- ・各種目の競技結果は、アナウンスのほか100mスタート後方の掲示板に掲示する。

9 県大会進出について

- ① トラック種目、フィールド種目共、上位16名(チーム)は県大会に出場できる。
※但し、走高跳は県大会参加標準記録突破者とする。
- ② トラック種目で次のラウンド決定において同タイムの競技者が出た場合は写真判定を細部まで読み取り優劣を判定する。その際、1000分の1秒以上の差があれば優劣を判定する。ただしそれでも判定できない場合は抽選とする。
※但し、16位の決定において同タイムの場合は県大会へ出場できる。
- ③ フィールド種目で16位の同順位が出た場合は、県大会に進出できる。
但し、棒高跳は決定戦を行い決定する。(棒高跳については競技途中に行う)
※1 各地区での県大会出場枠に参加者が満たない種目の出場権については、招集完了時に県大会出場枠以下(エントリーが出場枠以上でも)であったとき、県大会出場権獲得とする。ただし、招集完了時に出場枠以上で競技が開始された場合、失格等があった出場枠に満たなくなった時の補充はしない。
※2 各地区の予選会は、フィールド競技は3回の試技で競技する。(トップ8は行わない)

10 フィールド競技について

・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。各種目最終点呼時に確認されたい。

	1	2	3	4	5(県大会 出場記録)	6~
男子	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	標準記録以降は 各地区で決定
女子	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	

- ・男女走幅跳、男女三段跳はAピット(フィールド側)、Bピット(スタンド側)で行う。※三段跳は男子11m・女子9mの踏み切り板とする。
- ・各地区の予選会は、フィールド競技は3回の試技で競技する。(トップ8は行わない。)

11 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
ただし、棒高跳用ポール、砲丸、円盤、やり、ハンマーについて検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。
(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。 競技順序参照。) ※検査は招集ではないので注意すること。

12 抗 議

競技規則146条によって行うこと。

13 そ の 他

- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をする。
- ・プログラムにミスがある場合には本部総務まですみやかに連絡すること。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を行っていただきます。
- ・8時30分までに参加各学校より1名以上の補助員を出し、本部前に集合させること。
- ・参加選手についてもフィールド種目の準備等について出来るだけ協力すること。
- ・本大会について不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部総務まで問い合わせること。
- ・本競技場メインスタンドでのテント、部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・競技運営に支障をきたす応援は慎むこと。(特にフィールド競技中のグループ応援等)
- ・競技場内での付添い及び応援は一切禁止する。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、通路等にシート等を敷くことを禁止する。**※レストハウスは一般の方々も使用します。**
- ・競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことは、アマチュア資格に抵触するので厳に慎むこと。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ・ビデオ装置、カセットレコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で使用することは出来ない。
(競技規則144条)
- ・男女の各リレー種目で県大会への出場権(16チーム)を得た学校で、県大会へのメンバーの変更を希望するところは、その日の競技が終了後、ただちに本部記録係に申し出ること。
- ・**ゴミについては各自持ち帰りを原則とします。**

☆学校受付について

各参加校の引率顧問の先生方は大会当日8:00~8:30の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。

※顧問の引率が無い場合は、高体連試合参加規定によって選手の出場は認められません。

☆安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外にはトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場、サブトラックでは決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
(※本競技場においては、1, 2, 3レーンが周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する。状況によって変更の指示があります。)
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行う。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行う。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブやメデシンボール等を使用しての練習は安全面から行わない。(サブトラックその周辺を含む)

三ツ沢公園レストハウスの使用について

三ツ沢競技場レストハウスは陸上競技場に付随する占有施設ではありません。レストハウス内のトイレ・更衣室は共用スペースですので占有使用は認められておりません。併せてレストハウスの通路は一般の方々も利用する通路として確保すべき場所でもあります。よって大会開催時にシート・マット等を敷き占有する等の使用方法は認められませんのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。尚、大会開催時に通路等に占有物が確認されましたら、大会本部として撤去いたします。

★ 荒天等の影響で大会の開催が変更又は中止の場合には、「横浜市陸上競技協会のHP」をご確認ください。